March 22, 1995 (12)

仮設住宅居住者の生活ニーズのアンケートについて

高齢者や体の不自由な方を中心に入居されている東灘区内の仮設住宅において、住民の生活関連のニーズを確認し、今後の『東灘・地域助け合いネットワーク』の活動の可能性を見極めたいと思います。

ボランティアの方は下記の要領で、住民の方々からの要望をまとめてアンケート用紙に記入してください。

＝ 記 ＝

対象：
- 住吉仮設住宅（２０５世帯）および御影中仮設住宅（４９世帯）の居住者。
- 本庄中央仮設／瀬戸仮設／魚崎第１第２仮設住宅の居住者については、既に多くが訪問済みであるので、重複を避けるためにこれらの地域については、住吉／御影中仮設住宅終了後に検討します。

方法：
- 高齢者ケアの経験者以外は、基本的に二人一組で訪問してください。
- 一方が、主に住民の方への質問を行い、他方がメモのまとめや補足を担当してください。
- 一組で５世帯を担当し、本部事務所で１世帯ごとに１枚のアンケートに記入・提出後、次の訪問に向かってください。
- 住民の要望の中で緊急性のあるものは、アンケート提出時に必ず、本部のとりまとめ担当者に報告してください。

注意：

・訪問の初めと終りに、必ず、住民の方からの要望は、『東灘・地域助け合いネットワーク』の活動の範囲内であれば、本部に報告の上対処し、専門的な事柄については東灘区福祉事務所と東灘区社会福祉協議会に連絡する旨、伝えてください。

・住民の方の簡単な要望（例、家具の移動）については、その場でお手伝いいただきたいのですが、検討の必要なもの（例、倒壊住宅からの荷物の運び出し、羽布団の配布）については、即答を避け、あらためてこちらから連絡する様にしてください。

・訪問の際には、単に調査項目ごとに事務的に質問するのではなく、やさしく相手の相談にのるつもりで進めてください。

・プライバシーの保護については、充分に注意を払い、相手の答えづらい内容については、つっこんだ質問を避けてください。

・仮設住宅の住民に対しては、既に複数の団体・機関からの訪問があり、アンケートに好意的な反応が得られない場合が考えられます。その際には、決して無理強いせず、相手の心情を考慮して、温かく、冷静に対応してください。

・相手に対して、「相手の上に立たないこと。相手よりこちらが、少し低いところにいるから、心は流れてくる。相手の心の状態に合わせ、自然な心の流れに沿うようにすること。この人ならわかってくれるという信頼感を培うこと」（『おとしよりの対応』日本臨床心理士会 河合隼雄会長、AERA 1995.2.27より）

(No.　　)

氏名　　：　　（年齢：　　）
住所　　：　仮設＿＿＿＿＿＿　部屋番号＿＿＿＿＿＿
電話番号　：
訪問日時　：
担当者　　：

各々の項目についてのお手伝いの必要性

生活関連ニーズ：　買い物／室内の掃除・片付け／食事／洗濯／
自宅からの物品の取り出し／家具の移動／話し相手

介護・医療ニーズ：　通院／外出付き添い／車椅子介助

情報のニーズ：　店舗・行政機関（『仮設住宅向け生活情報』の不足）

行政機関への要望：　各種申請の代行／仮設住宅設備に関する要望
周辺整備に関する要望（例、周囲の舗装・ひさしのとりつけ）

その他、気がついたことや要望について、ウラに記入してください。